

## 学校再編

### 町教育委員会からの報告



今年一月に「奥出雲町学校再編基本計画検討委員会」からの答申を受け、八月二十七日、奥出雲町教育委員会から、小学校の方向性について、井上町長に報告書が提出されました。



松浦教育委員長から報告書が提出

#### 内容

「奥出雲町学校再編基本計画検討委員会」からあった答申内容を尊重し、児童が健やかに育まれる教育環境を維持するため、全校児童数十五名以下の極小規模校は、早急に学校再編する必要がある。また、複式学級のある小規模校についても、今後の児童数の減少や社会情勢の変化などにより、望ましい教育環境を確保するために、学校の再編をする必要がある。

## 思い出の詰まった校舎に別れ

### 横田高校 旧校舎惜別の集い

昭和三十九年に建設された、県立横田高等学校の旧校舎本館（管理・教室棟）が老朽化により、九月上旬から取り壊し、建替え工事が始まっています。

同校は、大正八年に創立以来、今年で九十周年の節目を迎え、八月二十九日には、思い出の詰まった校舎にお別れをしようと、横田高校卒業生を招いた「旧校舎惜別の集い」が開かれました。

式典には、在校生や卒業生約二百人が集まり、四十七期の卒業生でもある井上町長をはじめ、歴代の校長や卒業生などが、旧校舎での思い出を語り合いました。



全員で校歌の合唱



取り壊される旧校舎

また、同校の卒業生も多く参加している「ヤマタのおろち吹奏楽団」と同校吹奏楽部のジョイントコンサート、「奥出雲神代神楽社中」の公演などが行われ、最後に全員で校歌を合唱し、旧校舎との別れを惜しみました。

この日、旧校舎は一般に開放され、多くの卒業生が、思い出を振り返りながら校舎を散策しました。

新校舎は、平成二十三年春に完成する予定です。

## 三部門で出場権獲得

### 国体ホッケー競技 中国ブロック大会

今年十月に新潟県で開催される、第六十四回国民体育大会の出場権をかけた、ホッケー競技中国ブロック大会が、八月二十一日から二十三日にかけて、三成公園人工芝ホッケー場で開催されました。島根県チームは、少年男子、少年女子、成年男子が優勝し、それぞれ本大会への出場権を獲得しました。

選手団の本大会での活躍を期待します。

決勝の結果は次のとおり

- 少年男子 対鳥取県（十一対〇）
- 少年女子 対鳥取県（六対〇）
- 成年男子 対岡山県（三対〇）
- 成年女子 対広島県（〇対二）



大会の様子（少年男子）

## 晴天のもと

### 鳥上・横田・馬木地区民体育大会

九月四日、鳥上、横田、馬木地区で地区民体育大会が開催されました。会場となった各小学校のグラウンドでは、多くの種目が行われ、子どもから大人まで心地よい汗を流し親睦を深めました。



百足競走（馬木）

## 斐伊川源流から河口まで88キロ踏破

### 神話の舞台

出雲神話の舞台となった斐伊川に沿って、源流から河口まで約八十八キロを三日間かけて踏破する「神々のふるさとしまね・おろちウオーク」が八月二十八日から三日間の日程で開催され、全国各地から四十八人が参加しました。ウオークは、県のウオーキング協会などが、平成十三年から始め、今年で九回目となります。

戦。山頂までの往復十キロのコースをオロチが住んだとされる鳥上滝やブナ林などを巡り、悠久のロマンに思いをはせながら登山を楽しみました。参加者からは「神話が息づく流域を歩きながら、自然や文化を体感できて楽しい。今年も仲間と新しい発見ができそうです」と軽やかな足取りでゴールを目指して歩いていました。



下流に向かって歩を進める参加者



木挽き競争（横田）



大縄跳び（鳥上）